

第9回 若手研究交流会開催報告

電気通信大学 山本 佳世子

The University of Electro-Communications Kayoko, YAMAMOTO



口頭発表の様子



ポスターセッションの様子



優秀賞受賞者記念撮影

日本計画行政学会・社会情報学会共催による第9回「若手研究交流会」が、2015年3月7日(土)、東京工業大学大岡山キャンパスにて開催されました。35件の口頭発表、7件のポスター発表が行われ、多くの学部生、大学院生、若手研究者が参加しました。今回も研究交流会は、社会情報学会との共催で行われ、社会、情報、経済から都市や環境に至るまで幅広い議論が展開されました。口頭発表セッション、ポスターセッションともに活発な議論が繰り広げられました。その後、田村哲樹氏による特別講演会「熟議民主主義研究の現在」を開催しました。

交流会では毎年、計画行政の発展に寄与するような、独創性、理論・技術上の貢献、政策的有用性の点で優れた研究、あるいはそのように発展していく可能性を有する研究に対して、「優秀賞」

を授与してきました。今年度は口頭発表に加えてポスター発表も表彰の対象となり8件の優秀研究発表賞と1件の優秀ポスター発表賞が選出され、本大会長である坂野達郎先生より、賞が授与されました(下記一覧)。

研究交流会後の懇親会にも多くの方が参加し、大学やゼミをこえて親睦を深める良い機会となりました。

次回の研究交流会は、2016年3月初旬に青山学院大学にて開催される予定です。詳細が決まりしだい、機関誌やチラシ、学会ホームページ等でご案内いたしますので、奮ってご応募ください。

最後に、研究交流会の運営に尽力いただいた皆様、座長の労を取ってくださった先生方に、深く御礼申しあげます。ありがとうございました。

■ 優秀研究発表賞受賞者

関鉄平（東京工業大学）：SERVQUALを用いた図書館におけるサービスクオリティの測定

叶少瑜（東京工業大学）：留学生のメディアリテラシーに対する認識に影響を及ぼす諸要因—ケータイとスマホを中心に—

長谷川裕（東京大学）：テレビニュースにおける選挙報道の変容と議題設定機能

藤井奏子（徳島文理大）：市町村章一色の決め方と色のつかわれ方—

辻本まりえ：集団的環境配慮行動の動機に関する研究

上甲和輝（東京工業大学）：超長期リスクを伴う

意思決定 構造に関する研究—高レベル放射性廃棄物の処分問題を事例として—

林凌（東京大学）：地方行政による「ロードサイド空間」の創出過程—1980～90年代の高崎市を事例に

福田峻（東京大学）：企業間取引ネットワークを用いた広域的企業移転の解明

■ 優秀ポスター発表賞

木下七海・根本和汰・中谷恭平（一橋大学）：保護すべき自生種の有無がもたらす公園管理形態の違い—川崎市の近隣公園を事例として